

第2学年 中学校社会科学学習指導案

日時 平成28年9月24日(土) 第3校時

児童 越谷市立文教中学校 2年1組 41人

場所 3401教室

授業者 B3E12040 涌井政人

1 単元名 「江戸幕府の秘密を探ろう」

2 単元の目標と評価

(1)目標

- ・どのようにして江戸幕府が成立し、どのような身分に支えられていたのか考え、徳川氏はどのように日本を支配していたのか説明できるようにする。
- ・どのように鎖国がはじまり、また鎖国後どのような政策がとられていったのか説明できるようにする。

(2)評価規準

ア.関心・意欲・態度	イ.思考・判断・表現	ウ.観察・資料活用	エ.知識・理解
○江戸時代に親しみを持つとし、江戸幕府が長く続いた理由や、どのような政策を行っていたかを探ろうとしている。	○江戸時代の国内での支配体制や、外国との対外関係について、どのようなであったか自分の言葉で表すことができる。	○史料から必要な情報を読み取り、江戸時代の支配体制・外交関係の特徴をとらえることができる。	○江戸時代にはどのような身分があり、また身分によってどのような違いがあったか理解している。

3 単元について

本単元は、中学校第二学年学習指導要領の「内容(4)近世の日本 イ 江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立及び農村の様子、鎖国下の対外関係などを通して、江戸幕府の政治の特色を考えさせ、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。」を受けて設定したものである。よって①江戸幕府の成立と大名統制②鎖国政策③身分制度の確立及び農村の様子④鎖国下の対外関係、これらの学習内容から幕府と藩による支配体制の確立を学習させることが必須であることがわかる。内容の取扱いでは、次のことに気づかせる必要があるとされている：①江戸幕府の成立と大名統制では、幕府が大名を統制するとともに、その領内の政治の責任を大名に負わせたこと ②鎖国政策では、幕府によるキリスト教の禁止、外交関係と海外情報の統制、大名の統制などの面があったこと ③身

分制度の確立及び農村の様子では、身分制度が確立し、それぞれの身分の中で人々が職分を果たしたこと、人口の多数を占めた農民が村を生活の基盤として農作業などで助け合いながら暮らしていたこと、農村が幕府や藩の経済を支えていたこと ④鎖国下の対外関係では、長崎でのオランダ、中国との交易、対馬を通しての朝鮮との交流、中国とのかかわりにおける琉球の役割、蝦夷地で独自の文化を築いていたアイヌの人々が、海産物など北方との交易をしていたことに着目させ、統制の中にも交易や交流がみられたこと。

これらを踏まえて、単元の指導を行っていく。

指導方針として、①江戸幕府の成立と大名統制では、親藩、譜代大名、外様大名などの大名配置を中心に江戸幕府の支配の仕組みである幕藩体制を重点的に理解させるようつとめる。また初めて江戸時代を学習するため江戸城や徳川家の家紋(水戸黄門の家紋)などを提示し、江戸時代のイメージをつかみ親近感をもたせることも狙う。

②鎖国政策では、朱印船貿易から禁教令を経て鎖国までの完成を学習する。朱印状に書かれている言葉から東南アジアと貿易し、日本町が形成されたことを学ぶ。また禁教令、宗門改帳、踏絵によりキリスト教の信仰を禁止し、その結果島原・天草一揆が起こり鎖国に至ったことを学習する。③身分制度の確立及び農村の様子では、教科書 106 ページ上部の「身分のちがひ」の資料からどのような身分の違いがあり、それぞれどのような生活を送っていたのか学習する。また教科書では②鎖国政策と③身分制度の確立及び農村の様子での学習の順番が反対になっている。②鎖国政策では、③身分制度の確立及び農村の様子で百姓が年貢によって苦勞していたことを学習し島原・天草一揆へとつなげたい。④鎖国下の対外関係では、鎖国を行っていた一方で、一部の国とどのような交流があったかを学習する。教科書 110 ページの左下「出島でビリヤードを楽しむオランダ人」の絵を見せ、鎖国で貿易が行われなくなったのに、どうして外国人が日本にいるのかというように興味を持たせて、国ごとに対外関係を学習していく。

生徒の実態としては、教えられた知識をしっかりと理解しているが、もっと学ぼうとしたり、どうしてだろうと意欲を持って勉強しようとする姿勢に少し欠けている。そこでこの単元では、そのような意欲を持たせる活動を多く入れた。この単元をきっかけに少しでも受け身な姿勢から意欲を持って勉強する生徒を育てたい。

これまでに鎌倉幕府、室町幕府について学習し、今回は江戸幕府を扱うので、幕府の学習は3回目となる。また江戸時代の学習は小学校のときにも一度学習している単元である。これまでの幕府と違うところなどを比較しながら、江戸時代の学習を進めていきたい。

以上をふまえた上で、次のような単元の指導計画を立てた。

4 指導計画

次	時	主な学習活動	各時間の評価規準
1	1	○江戸幕府がどのように日本を支配したのか理解する ・徳川家康が関ヶ原の戦いで石田三成を、大坂の陣で豊臣氏を滅ぼしたことを学習する。 ・教科書 105 ページ、右上「おもな大名の配置」からどうして幕府は親藩、譜代大名、外様大名を図のように配置したのか考える。	ア 江戸時代に親しみを持とうとし、江戸幕府が長く続いた理由を探ろうとしている。 A:江戸時代に興味を持ち、すすんで調べようとしている。 B:江戸時代に興味を持っている。 C:意欲を持って調べようとしていない。
	2	・どうして武家諸法度、禁中並公家諸法度を定めたのか考える。 ・鎌倉幕府、室町幕府との共通点、相違点を確認する。	イ 江戸時代の支配体制を自分の言葉で表現することができる。 A:文章で自分の言葉でまとめ、理解している。 B:なんとか自分の言葉で文章にすることができている。 C:うまく自分の言葉で文章をまとめることができていない。
	3	○江戸時代の身分制度を学ぶ ・教科書 106 ページの「身分のちがひ」の資料から、どのような身分があったのか読み取る。身分によって何を食べているか読み取る。 ・それぞれの身分がどのような生活をしてきたのか調べ、まとめる。	エ 江戸時代にどのような身分があり、また身分によってどのような時代があったか理解している。 A:江戸時代のそれぞれの身分の特徴を自分なりに理解している。 B:江戸時代のそれぞれの身分の特徴を大まかに理解している。 C:江戸時代のそれぞれの身分の特徴をあまり理解していない。
2	4	○江戸幕府の対外政策を学ぶ ・朱印状から日本が安南(ベトナム)をはじめ東南アジアと貿易していたことを読み取る。またそこで日本町が作られていったことを学ぶ。 ・禁教令、宗門改帳、踏絵などの政	ウ 史料から必要な情報を読み取り、江戸時代の外交関係の特徴をとらえることができる。 A:史料から、日本が外国と貿易をしていたということが読み取れる。 B:史料から、日本が外国と貿易をしていたということを理解している。

	<p>策により、キリスト教の信仰が禁止されたことを学ぶ。またどうして貿易をしていたのに鎖国をしたのか考える。</p> <p>・前時の百姓の生活を踏まえ、島原・天草一揆について学習する。</p>	<p>C:史料を読み取ることができていない。</p>
5	<p>○鎖国してからの日本の対外政策を学ぶ</p> <p>・教科書 110 ページの左下「出島でビリヤードを楽しむオランダ人」の絵を見せ、日本に外国人がいることを確認し、日本は完全に外国と関係を絶っていないことを理解する。</p>	<p>ウ 史料から必要な情報を読み取り、江戸時代の外交関係の特徴をとらえることができる。</p> <p>A:鎖国をしたのにも関わらず、日本に外国人がいることに疑問を感じている。</p> <p>B:鎖国をしても日本に外国人がいることがわかる。</p> <p>C:史料を読み取ることができていない。</p>
6	<p>・中国、オランダ、朝鮮、琉球、アイヌ民族とそれぞれどのような関係をもっていたのか考える。</p>	<p>イ 江戸時代の国内での支配体制や、外国との対外関係について、どのようであったか自分の言葉で表すことができる。</p> <p>A:文章で自分の言葉でまとめ、理解している。</p> <p>B:なんとか自分の言葉で文章にすることができている。</p> <p>C:うまく自分の言葉で文章をまとめることができていない。</p>

5 本時の学習 (1/6 時間目)

(1)本時の目標

- ・幕藩体制という江戸幕府の基本的な支配体制を理解する。

(2)評価規準

- ・江戸時代に親しみを持とうとし、江戸幕府が長く続いた理由を探ろうとしている。

(ア 関心・意欲・態度)

(3)準備

- ・徳川家の家紋の写真、江戸城の写真
- ・教科書 105 ページ上の「主な大名の配置」を拡大したもの

(4)展開

過程	教師の指導	○生徒の活動・発言	★指導上の留意点 ★評価
<p>事象提示 7分</p>	<p>○数字を3つ(148、235、264)提示する。 「黒板に3つ数字を書きました。この数字は何を表しているでしょうか。ヒントを出していくので、わかった人から手を挙げていってください。」</p> <p>「わかった人に聞きます。この数字は一体何を表しているでしょうか？」</p> <p>「正解です。左から鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府となっています。またこの数字からわかるように、一番長く続いたのは江戸幕府です。また江戸時代に関係するものは今でも多く残っています。この写真を見てください。この写真はテレビでも放送されて有名ですね。何の番組か知っていますか？」</p> <p>「そうですね。水戸黄門はいつの時代を題材にしたかというと、江戸時代です。」</p> <p>「ではこの写真を見てください。ここにはあるすごい人が暮らしています。誰が住んでいるか知っていますか？」</p> <p>「そうです。今の天皇はこの皇居という場所に住んでいます。実はこの皇居、徳川家康が建てた江戸城が基になっています。このように、現在でも江戸時代に関係するものが多く残っています。」</p>	<p>「幕府が続いた年数を表しています。」</p> <p>「水戸黄門です」</p> <p>「天皇です。」</p>	<p>☆148、235、264の下にそれぞれ 1185 ～ 1333、1338～1573、1603～1867 と書いていく。大体の生徒がわかってきたら、指名して答えさせる。</p> <p>☆徳川家の家紋の写真を黒板に貼る。</p> <p>☆名前が出てこないようであれば、先生が答えを言う。</p>
<p>課題</p>	<p>「さっきも言った通り、江戸幕府が歴代の幕府に中で一番長く続きました。どう</p>		

<p>提示 3 分</p>	<p>して幕府が長く続いたのか、その理由を 今日から勉強していきます。」</p>		
<p>予想 2 0 分</p>	<p>「江戸時代の大名は 3 つの種類に分か れていました。1つ目は元から親戚だっ た親藩、2つ目は関ヶ原の戦い以前から 徳川家に従っていた譜代大名、3つ目は 関ヶ原の戦い以降に徳川家に従った譜 代大名です。今日考えてもらうことは2 つあります。今配った大名配置の図を見 てください。①この色はそれぞれの大名 を表しているでしょうか。②徳川家康 の気持ちになって、どうしてそのように 配置したのか、理由を考えてみてくださ い。」</p>	<p>「外様大名は、最近仲 良くなったから江戸 から遠いところに配 置していそう。」 「でも何をするかわ からないから江戸の 近くに配置していた のかもしれないよ。」</p>	<p>☆主な大名配置 の図を配布す る ☆理由を考える ことができな い生徒には適 宜机間指導を 行う。</p> <p>★江戸時代に親 しみを持つと し、江戸幕 府が長く続い た理由を探ろ うとしている。 A：江戸時代に 興味を持ち、 すすんで調べ ようとしている。 B：江戸時代に 興味を持って いる。 C：意欲を持っ て調べようと していない。</p>
<p>追 究 解 決</p>	<p>「それでは確認していきましょう。譜代 大名を江戸の近くに配置した理由を説 明してください。」</p>	<p>「外様大名はまだあ</p>	<p>☆譜代大名と外 様大名をどち らに配置した のかで意見が</p>

<p>2 0 分</p>	<p>「では次に外様大名を江戸の近くに配置した理由を説明してください。」</p> <p>「どちらともよい意見が出たと思います。正解は、譜代大名を江戸の近くに配置したのが正しいです。やはり外様大名は家来になったばかりなので、なるべく江戸から遠いところに配置されました。またもう一つ理由がありますが、それは次回学習します。」</p>	<p>まり信用されていなかったと思うので、譜代大名をなるべく江戸の近くに配置したと思いました。」</p> <p>「外様大名を悪いことをしないように見張るために江戸の近くに配置したと思います。」</p>	<p>分かれると予想される。答えは外様大名を江戸から遠いところに配置したであるが、対立した意見を出すことで、より理解を深めさせる。</p> <p>☆次回は武家諸法度などの江戸幕府での法律を学習する。武家諸法度の参勤交代と結びついて</p>
----------------------	--	--	---

(5)板書計画

<p>徳川家康はどのようにして 日本を支配したのだろう</p> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 150px; margin: 10px auto; text-align: center;"> <p>大名配置の図を貼る</p> </div> <p>① 親藩、譜代、外様はそれぞれどのように配置したか。</p>	<p>② どうして徳川家康はどのように配置したのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 譜代を近くに置いた理由 ・ 外様を近くに置いた理由
--	--